

購買業務のプラットフォーム

購買知財力 共有化・見える化評価



購買知財力 共有化・見える化 評価表	
評価項目	評価内容
購買知財力の共有化	購買知財力の共有化の程度
購買知財力の見える化	購買知財力の見える化の程度
購買知財力の評価	購買知財力の評価の程度
購買知財力の共有化・見える化・評価の総合評価	購買知財力の共有化・見える化・評価の総合評価



一般社団法人 日本資材管理協会

URL : <http://www.jmma.gr.jp>

E-MAIL : info_jmma@jmma.gr.jp



購買の生産性を向上させるには.

組織の総合力を高めるには・・・
個人のスキルだけでなく
組織知財の共有化・見える化が 重要

購買力向上させる
ノウハウ・知財力

- Q
C
D
S
Ec
Ev
M
1. そのモノはどのような仕様、性能 **品質** か?
 2. どのようにして作られますか? **納期**
 3. いくらか、いくらであるべきか? **価格**
 4. どのような業界ですか? **市場分析**
 5. 魅力的な新製品開発に必要な情報は
 6. **SCM, e-commerce** を活用していますか?
 7. 為替, 輸入手続きは理解していますか?
 8. 商法, 下請法など遵守していますか?
 9. **PCS** の考え方 認識 活用 , 開発購買
 10. **VE** の理解 活用, **グリーン調達** **ISO14000**
 11. 調達先の経営状態、リスク対策、 **ISO26000**

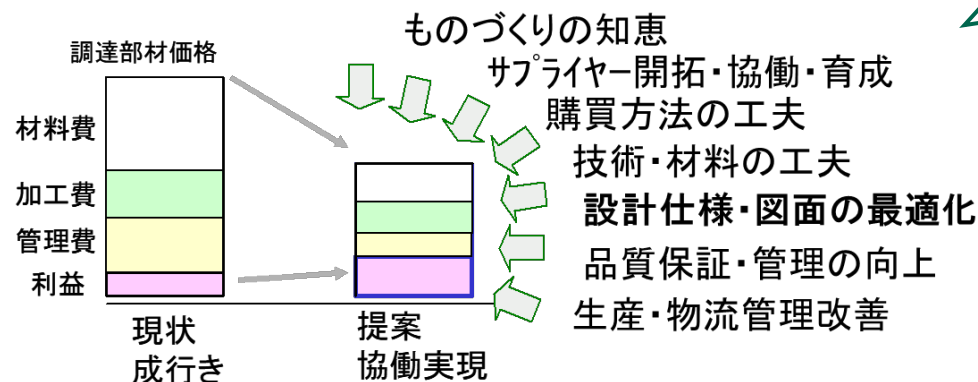


「購買」は 情報を利益に変える !

redefinition

『サプライヤに ビジネス・チャンス を提供して、
必要なQCDESを達成・向上させること』

『サプライヤの優れた技術やものづくりの知恵を活用・協働して、
自社の利益とサプライヤの利益を両立させること』



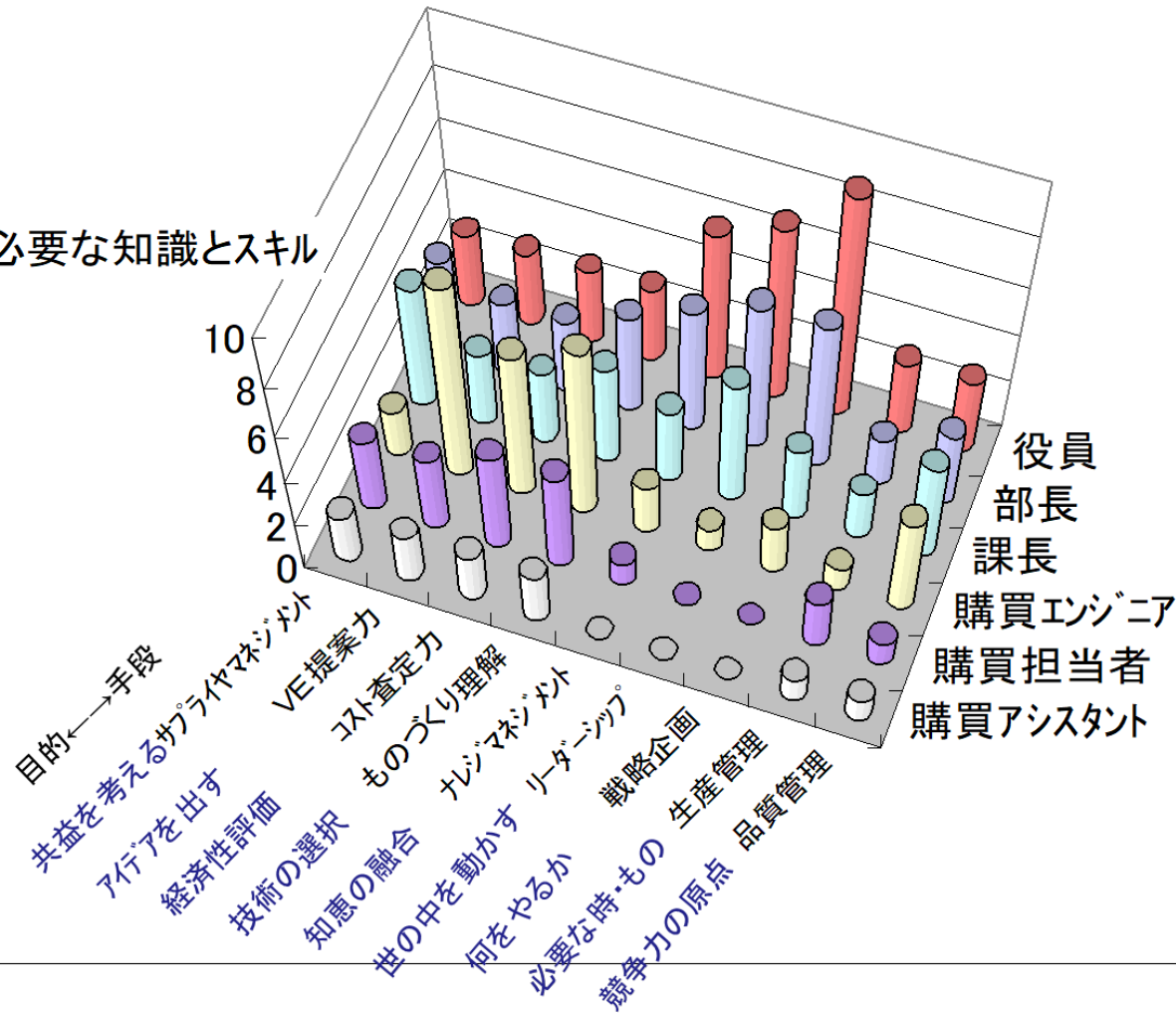
サプライヤと
知の融合 !



購買に求められる 知力・能力？

Essential abilities

必要な知識とスキル





購買知財力 共有化・見える化 視点 capability

経営資源は ひと・もの・かね
購買資源は ひと・情報・サプライヤ

1. コスト査定力
2. 競合明確化力
3. VE提案力
4. 購買戦略力
5. サプライヤ評価力
6. 技術の目利き力
7. ナレッジマネジメント力

設定例で
変更容易です





どの視点を重視すべきか？ 配点

evaluation concept

何が重点かを提示し、
評価結果の特徴 強み・弱み
見える化も あると理解しやすい

	配点例A	配点例B
コスト査定力	15	10
競合明確化力	20	30
VE提案力	20	10
調達戦略力	20	20
サプライヤ評価力	5	10
技術の目利き力	10	10
ナレッジマネジメント力	10	10
Σ	100	100

評価結果の見える化 例



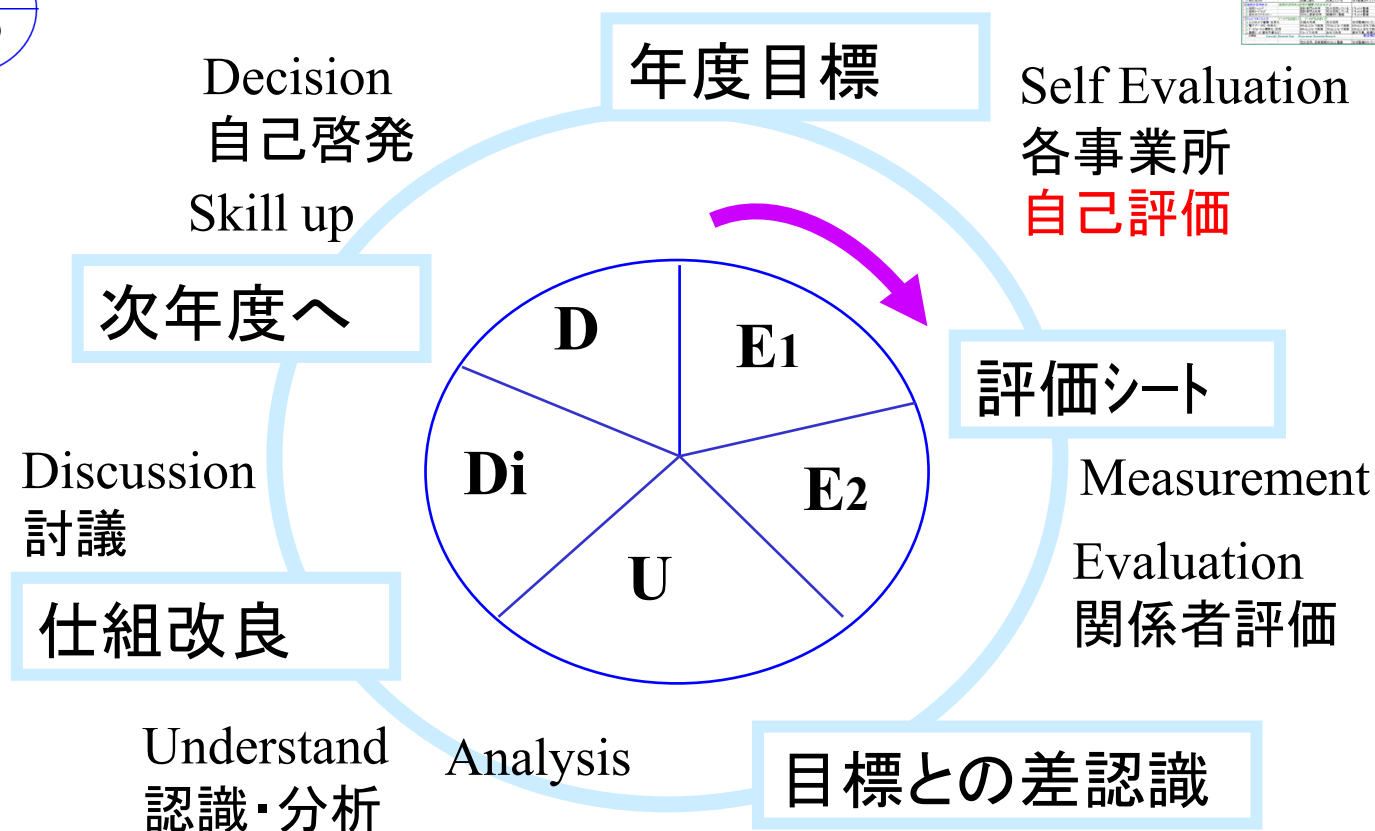
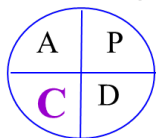
* 評価軸ごとの配点は簡単に変わられます。



購買知財力 共有化・見える化 進め方

procedure

管理の基本 (W.E. Deming)



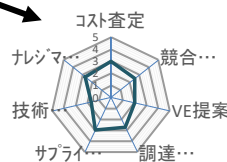


購買知財力 共有化・見える化評価の構成

architecture

事業所・ID

見える化
(強み弱み)



購買知財力 共有化・見える化 評価表

2022/1/13

V1.0 Solution Provider

部門名
概要

改善提案
更に良くするには

評価点数
43

注意事項
"項目評価"に5点満点で評価記入
フォーマットは変更しないで下さい。
更に 戦略的に改善するには

評価軸
評価項目

			5段階評価の判断基準					項目 評価	合計 点	特徴 点	配点 率
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1 コスト査定力			コストの目利きが不可欠。購買エンジニア					3	9	0	
a	外注品の コストテーブル(積上げ方式)	DB定期更新改良	コンピュータ化・活用	限定して利用	あるには あるが...	なし	3				
b	購入品の コストテーブル(回帰分析方式)	DB定期更新改良	コンピュータ化・活用	主要品は整備	古いモノがある	なし	3				
c	値決めの根拠	常に改良している	充実している	一部分でできている	あるには あるが...	なし	3				
2 透明化力			まず、競争から始める。購買エンジニア					2.5	8	0	
a	購入品のBMS(互換比較動機付け)	設計部門とも共有	活用している	ほぼ整備されている	類似データあり	なし	2.5				
b	購入区分別取引先再編成計画	関連部門とも連携	充分活用している	ほぼ整備されている	類似データあり	なし	2				
c	サプライヤ・マップ	充実・定期的に改良	充分活用している	ほぼ整備されている	類似データあり	なし	2				
3 VE提案力			VEマインドとアイデア・ドクターとなるノウハウなくして開発購買なし					6	2	15	
a	VE/CD/ノウハウ集	設計部門と共有	充分活用している	ドキュメント整備	部分的にある	なし	2				
b	コスト原単位データ	原価企画部門と共有	充分活用している	ドキュメント整備	部分的にある	なし	2				
c	標準化・共通化	設計部門と共有	充分活用している	ドキュメント整備	部分的にある	なし	2				
4 調達戦略力			戦略明確でなければ、意思弱く、計画立たず					11	3	15	
a	購入区分別調達戦略	経営直結組織で実施	全社的な取り組み	ドキュメント整備	取引先別に作成	なし	4				
b	内外作政策	製造部門と連携	充分活用している	ドキュメント整備	部分的にある	なし	3				
c	海外生産方針・計画	製造部門と連携	充分活用している	ドキュメント整備	部分的にある	なし	2				
d	海外調達方針・計画	生産部門と連携	充分活用している	ドキュメント整備	部分的にある	なし	2				
5 サプライヤ評価力			取引先とのパートナーシップ、評価基準の明示が必須					9	3	14	
a	サプライヤ評価基準	定期的・公開	定期的・公開	規程あり、活用	一部で実施	規程無し	3				
b	工場品質審査基準	定期的・公開	定期的・公開	規程あり、活用	一部で実施	規程無し	3				
c	取引先DB	完備し進化	充実している	ほぼ整備されている	部分的にある	無し	3				
6 技術の目利き力			技術の目利きと活用が購買力を左右する					5	2	8	
a	技術トレンド	設計部門と共有	充分活用している	ドキュメント整備	一部で実施	なし	2				
b	技術ロードマップ	設計部門と共有	充分活用している	ドキュメント整備	一部で実施	なし	2				
c	会社のコアテクノロジー	DB化し更新活用	組織的に	ドキュメント整備	あるには あるが...	不明確	1				
7 ナレッジマネジメント力			データがものぞきう。データがものをいう					11	3	8	
a	イントラネットで蓄積・共有化	仕組み充実	充分	ほぼ整備されている	部分的にある	実施されてない	3				
b	電子データ化・体系化	90%以上Gr.で実施	70%以上	50%以上全社で実施	各工場、部門で実施	実施されてない	3				
c	データフォーマット標準化・活用	90%以上Gr.で実施	70%以上	50%以上全社で実施	各工場、部門で実施	実施されてない	3				
d	基礎データ(資料予算など)	グループで共有	全社で共有	資料共有 実績から購入実績のみ	基礎データ不備		2				
23項目			合計点 43.3					合計点	43.3	100	

評価点

配点
(項目の重み)

合計点

判定基準(1~5)



購買知財力 評価シート 記入要領

購買知財力 共有化・見える化 評価表 2022/1/13 V1.0 Solution Provider

注意事項
"項目評価"に5点満点で評価記入
フォーマットは変更しないで下さい。
積極的に改善するにほい

部門名
概要

改善提案
更に良くするには

事業所

5段階評価の目安

項目評価 合計 特徴点 配点

1 コスト査定力 コストの目利きが不可欠 購買マネジメント

a 外注品の コスト見積(積上げ方式) 活用 限定して利用 3 3 20

b 購入品の コスト見積(回帰分析) 活用 主要品は整備 3 3 12

c 値決め根拠 整備 一部で整備 3 3 10

2 競合明確化力

a 購入品のBMS(互換比較) 整備 ほぼ整備 2.5 3 20

b 購入区分別取引先再編成計画 活用 ほぼ整備 3 3 10

c サプライヤマップ 充実・定期的に改良 活用している ほぼ整備 2 3 10

3 VE提案力 VEマインドと アイデア・ドカ-となるノウハウなくして開発購買なし

a VE/CD/ウパ集 設計部門と共有 充分活用している ドキュメント整備 2 2 15

b コスト原単位データ 原価企画部門と共有 充分活用している ほぼ整備されている 2 2 6

c 標準化・共通化 設計部門と共有 充分活用している ほぼ整備されている 2 2 6

4 調達戦略力 戦略明確でなければ 意思弱く、計画立たず

a 購入区分別調達戦略 経営直結組織で実施 全社的な取り組み ドキュメント整備 4 3 15

b 内外作政策 製造部門と連携 充分活用している ドキュメント整備 3 3 15

c 海外生産方針・計画 製造部門と連携 充分活用している ドキュメント整備 2 2 15

d 海外調達方針・計画 生産部門と連携 充分活用している ドキュメント整備 2 2 15

5 サプライヤ評価力 取引先とのパートナーシップ、評価基準の明示が必須

a サプライヤ評価基準 定期的実施・公開 定期的実施 規程あり、活用 一部で実施 規程無し 3 3 14

b 工場品質審査基準 定期的実施・公開 定期的実施 規程あり、活用 一部で実施 規程無し 3 3 14

c 取引先DB 充実している 充実している ほぼ整備されている 部分的にある 無し 3 3 14

6 技術の目利き力 技術の目利きと活用が購買力を左右する

a 技術トレンド 設計部門と共有 充分活用している ドキュメント整備 2 2 8

b 技術ロードマップ 設計部門と共有 充分活用している ドキュメント整備 2 2 8

c 会社のコアテクノロジー DB化し更新活用 組織的に整備 ドキュメント整備 1 1 8

7 ナレッジマネジメント データをものさし、データがものをいう

a イントラネット蓄積・共有化 仕組み充実 充分活用 部分的にある 実施されていない 3 3 8

b 電子データ化・体系化 90%以上Gr.で実施 70%以上Gr.で実施 実施されていない 3 3 8

c データフォーマット標準化・活用 90%以上Gr.で実施 70%以上Gr.で実施 実施されていない 3 3 8

d 基礎データ(資材予算など) グループで共有 70%以上Gr.で実施 70%以上Gr.で実施 実施されていない 3 3 8

23項目 Copyright Kimitoshi Yagi : Procurement Innovation Research

合計点 48 2.5 100

評価判定基準

レーダーチャートにリンク

評価点数記入

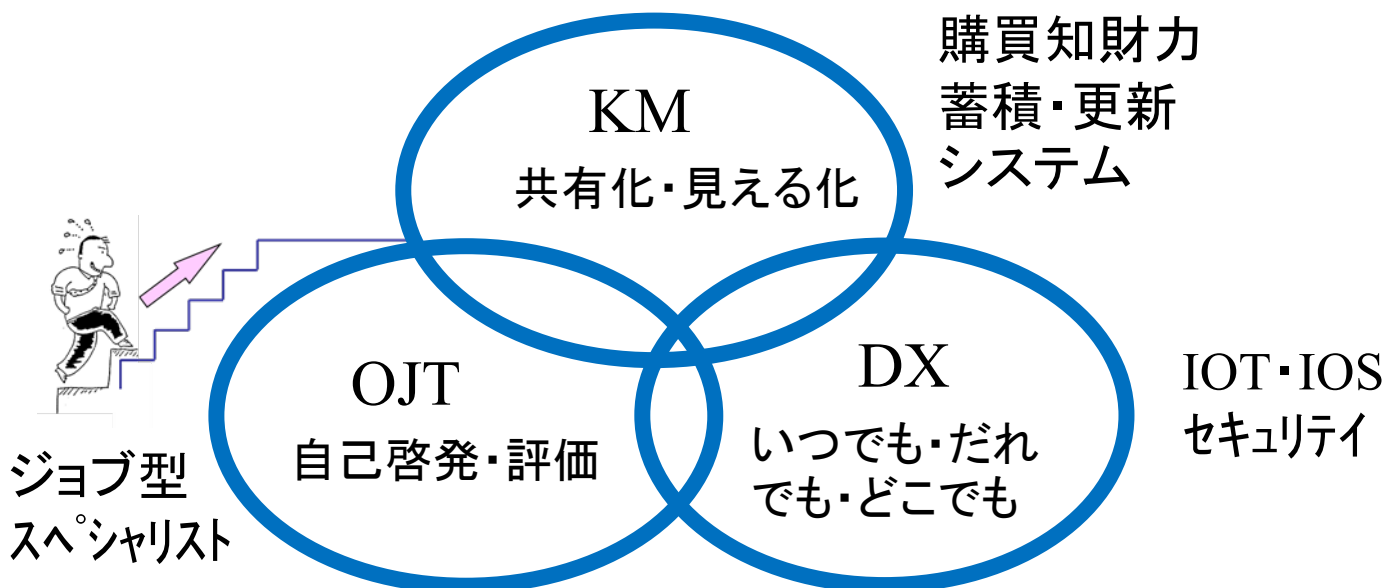


評価結果の討議・次年度へ

should be

情報を利益に変える
情報が無ければ 始まらない
共有化されなければ 活用進まない

管理の基本 (W.E. Deming)





capabilities

知財インフラ整備で 購買力アップ！
メンバーシップ型から ジョブ型スペシャリストへ
自己啓発「私はこれができる！」 相乗効果も

購買知財力 共有化・見える化評価

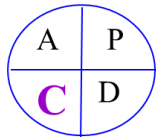
購買エンジニア評価

購買部門評価



購買知財力 共有化・見える化評価 まとめ

管理の基本 (W.E. Deming)



会社の利益を確保・増大させるために
スペシャリストへの自己啓発・相乗効果も

1. 共有化・見える化のあるべき姿を目指して課題を明確にして、対策を立てる。
2. 評価は毎年・每期行う。システムとして活用・継続が大切
立派な評価表を作ることではない、簡素が良い
3. 購買エンジニア評価も行い、自己評価・管理を期待する。
Next 5, Next 10 達成を目指す組織力の管理に活かす。